

## 合宿棟の脱衣所と風呂場を教師が盗撮。 女子高校生が次々と素っ裸を披露

私は、S 市立 O 高校で教員をしている。  
私が高校の教員になった同機は、日常的に女子高校生と接することができる仕事だからだ。  
現役の女子高校生としゃべることができて、しかもお金ももらえるというのは、私の天職だと思っている。

もちろん、高校の教師をする上で、めんどくさいことはたくさんある。

安定しているとはいえ、それほど給料が高いわけではないし、たいへんなこともたくさんある。

それでも私はこの仕事を、いつまでも続けようと思っている。

女子高校生と身近に接する機会があるということは、女子高校生たちを盗撮できる機会もたくさんあるということだ。

これこそ、高校教師の役得だろう。

O 高校は偏差値が 60 程度の進学校だ。

優秀な生徒が多く、部活動も盛んだ。

この高校は学校の施設が、かなり充実している。

学校内に合宿棟があるのだ。

この合宿棟には、50 人ほどが泊まることができる。

学校の長期休みの間には、この合宿棟を利用して、各部活が泊まり込みで練習をする。

学校側としても、それを推奨している。

各部活動が 1 泊 2 日ずつ、合宿棟を利用していく。

1 泊するということは、当然、合宿棟で寝泊まりするということだ。

当然、泊まった生徒全員が風呂にも入る。

現役の女子高校生で、自分の教え子でもある少女たちが、学校の中で全裸になるということだ。

こんなの盗撮しないわけがない。

盗撮するに決まっている。

合宿棟には、20 人ほどが一度に入れる風呂場が男女ごとにある。

私は、この風呂場と脱衣所で盗撮をしようと思い立った。

生徒たちが合宿棟を利用する日は、教師が男女 1 名ずつ詰めることになっている。

男子生徒の管理担当と、女子生徒の管理担当として、見守るためだ。

私はその担当を、なるべくかって出ることにした。

夏休みが始まって、最初に生徒が合宿棟で泊まる日。

私は、合宿棟の宿直として、泊まる予定だった。

同じく泊まる予定の、女性の英語の教師に話しかけられた。

「鈴木先生、よくがんばりますねー」とその女性教師が言う。鈴木というのは、私の名前だ。

「がんばるって何がですか？」と私は言った。

「だって、合宿棟の宿直、男子の方の半分くらいは、鈴木先生が出るんでしょ。がんばるなと思って」

「そうですねえ。でも、日当も別に出ますし、休み期間だからって特にやることもないんで、いいんですよ」と私が答えた。

「すごい、仕事熱心ですね。私なんか、嫌ですよ」とその女性教師が冗談っぽく笑いながら言った。この女性教師はまだ20代後半で結婚はしていない。

男子生徒の人気もそれなりにある、割とかわいい女教師だ。

この女教師も悪くないとは思うが、私はやはり若い女子の方が好きだ。

現役女子高校生に勝る生き物は、この世に存在しないと思っている。

合宿棟は3階建ての建物だ。

運動場の端にある。

合宿棟の1階は、食堂や洗面所や洗濯室と、男女ごとの大浴場がある。

大浴場は男子が西側の端、女子が東側の端にある。

だから、1階の東側には男子は立ち入り禁止で、西側には女子は立ち入り禁止となっている。

でも、何か仕切りがあるわけではないので、立ち入ろうと思えば立ち入ることはできる。

監督の教師は、そういったことが起こらないために立ち合っているのだ。

でも、その監督している教師が、脱衣所や風呂場に潜入するなんてことは考えていないのかもしれない。

2階は男子生徒の部屋で、3階は女子生徒の寝室となっている。

当然、女子は2階には立ち入り禁止で、男子は3階へ続く階段は上ってはいけないことになってい

る。

私は、夏休み最初の女子生徒たちが合宿棟に泊まる日の朝、女子の風呂場に忍び込み、隠しカメラを何台かセットした。

脱衣所では、ハンガーに模したもののや、置時計型のカメラや、火災報知器に模したカメラを仕掛けた。

風呂場の中では、清掃用具のボトルの中に、カメラを仕込んだ。

カメラを仕込んだボトルを 3 台用意した。

バレないように、穴を開けて、そこから風呂場の様子を撮影できるようにした。

あと、女子の風呂場の窓を少しだけ開けておいて、外から直接カメラで撮影しようと思っていた。

夜の時間なので、当然、学校の中には人はいない。

入浴する時間帯だと、生徒たちは合宿棟の中に全員入っているだろうし、注意しないといけないとしたら、女性の管理役の教員くらいだ。

窓から直接、盗撮することも簡単だ。

初日に泊まることになっていたのは、男女バスケットボール部と吹奏楽部だった。

女バスはスラっとした生徒が多い。

吹奏楽部は文科系なので落ち着いた生徒が多い。

それにけっこうかわいい女子が多い。

私の股間はもう元気になっていた。

部活の練習を終えて、食堂で夕食を食べた後、男女がそれぞれの部屋へと入った。

食堂での会話を聞いていると、夜の10時頃から、

入浴するということだった。

私は、それに備えて、9時45分くらいから、外に出て、女子風呂の窓の前でスタンバイした。

その窓からは、女子風呂の全体が見渡せた。

脱衣所から、風呂場の中へ入ってくる女子生徒たちをしっかりと撮影できるだろう。

9時55分くらいになり、女子生徒たちのにぎやかな声が響き渡ってきた。

私の期待が一気に高まるとともに、緊張も高まる。

私はカメラを回し始めた。

この日のために、最新の高性能カメラを購入していた。

脱衣所から風呂場へと続くスケルトンの窓の中で、何人もの女子生徒の影がうごめいている。

もうこれだけでも十分にエロい。

そして、ついに夢の瞬間がおとづれた。

全裸の女子高校生たちが連れだって入ってきた。

女子バスケット部のメンバー全員のようなようだ。

中には恥ずかしそうに、タオルで前を隠している生徒もいるけど、ほとんどが、素っ裸を晒している。

私はその様子を正面からカメラで撮影する。

誰も私のことに気付いている様子はない。

教え子の女子高校生たちが、生まれたままの姿を晒している。

無防備な全裸を披露している。

それは漫画でしか見たことがないような夢の光景だったが、紛れもない現実だった。

女子バスケット部の生徒たちが全員、あられもない姿を披露してくれている。

私は高揚感を必死に落ち着かせて、冷静に女子